

事例1

< 事例概要 >

- ・ 60 歳代、高血圧の患者。BMI 35.6 kg/m²。
- ・ アブレーション 2 回後の再発した持続性心房細動に対し、イリゲーション電極カテーテルを使用する予定でアブレーションを実施。
- ・ 心房中隔穿刺の際に、約 20 分を要した。動脈血を吸引し左房に到達したと判断したが、ガイドワイヤーが頭部方向に進んだため、カテーテル類すべてを右房まで引き抜いたところ、心停止となった。心臓超音波検査で心タンポナーデを疑い、心嚢穿刺を実施したが排液はなかった。経皮的心肺補助（PCPS）を実施後、開胸止血術を実施したが、治療 10 時間後に死亡した。
- ・ 死因は、大動脈穿孔による心タンポナーデ。解剖有、死亡時画像診断（Ai）無。